

# 週目点

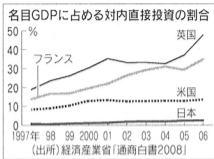


早稲田大学教授  
川本 裕子

九月二日、広島市で主要八カ国(G8)下院議長会議が開かれる。G8の議長会議が交流し、国際的な課題について討議することを目的としており、今回で七回目。日本では初の開催となる。

こうした国際会議は内外の政策課題を政治レベルで議論する機会であり重要だ。休憩時間などの非公式な会話を通じて個人的な信頼関係が生まれることも多く、このような信頼関係が一国の外交や経済交渉に役立つこともある。

本来、国民を代表する立場の国会議員の国際会議への出席は奨励されるべきだが、国



## ▶ G8下院議長会議 (2日)

# 国会議員 問われる国際性

会期中などに出席するのが難しいことは心配だ。

国際会議で信頼関係を築くうえで重要なのが語学力などのコミュニケーション能力だ。七月の洞爺湖サミット(主要国首脳会議)では、諸外国の政府要人の活発な立ち話の輪に日本の要人は加われず、手持ちぶさた気味だったといわれる。

政府は海外に対日投資を促しているが、思うように効果があがっていない。国内総生産(GDP)に占める対内直接投資の割合は三%以下と、主要先進国のなかで最低水準となっている。企業への規制、政策の透明性など背景は様々だろうが、日本の立場を対外的に説明する政治レベルでの努力不足も響いていないか。

民間企業はいち早くグローバル化の波にもまれ、取締役会を英語で進行する会社も出始めた。今後は内政についても政策判断はグローバルな視野が求められる。国際的視野と英語能力も国会議員の資格要件の一つとなろう。